

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションビジネス	ファッション流通業に必要なとされるファッションビジネスに関する基礎を学びながら、ファッションビジネス能力検定3級資格の取得を目指し、さらに企画について情報活用・提案までを理解する。	1・通年	60	2	○			○		○		
○			アパレル商品論・演習A	流通全般に必要なアパレル商品としてのスカート、パンツ、シャツ・ブラウス、ジャケットの基礎知識を理解させる。 基本型の各アイテムを製作し、発表することでファッションコーディネート技術を学習させる。 バザー作品のファッション小物の製作を通じて商品を理解させる。	1・前期	180	6	○	△		○		○		
○			アパレル商品論・演習B		1・後期	180	6	○	△	○	○		○		
○			ファッションコーディネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネートの提案能力を養う。 実物を使用して、実践的に取り組みながら学習することを目標とする。	1・通年	60	2	○		△	○		○		
○			マーケットリサーチ	・「調べる・見る・聞く」というリサーチの基本を、ショップや街などのリサーチとレポートを通して修得させる。 ・ファッション産業の構造を理解し、小売業態別にリサーチを行い、それぞれの特徴をまとめ、理解する。 ・目的に合わせたリサーチを実践し、得られた情報を分析し、企画に結びつける。	1・通年	60	2	○		△	○		○		
○			ファッション色彩	ファッション流通の色彩に関する基礎的な技術や知識を、演習を中心に学びながら習得する。 ファッション色彩能力検定3級に対応。テキストの内容に沿った講義や実習プリントの学習を通して、色彩の基本的な知識、配色の基礎、ファッションカラーコーディネーションのセオリーなどを理解し、ファッションの現場で活用できる能力を身につける。	1・通年	60	2	△	○		○		○	○	○
○			アパレル素材論	アパレル製品の主な材料であるテキスタイル(布地)とそれを構成する繊維原料、糸、またそれらの整理・仕上げ・染色加工などに関する基礎知識について「講義」「演習」「実験」を通して学習する。さらに、テキスタイルおよびアパレル業界のつながりや現状とも関連付けながら解説する。	1・通年	60	2	○	△	△	○		○		
○			ファッション史	古代から現代までの西洋服飾の変遷を時代背景、文化的背景と結びつけながら解説します。 各時代の服飾の特徴と現代ファッションとの関連性にも着目しながら、過去の服飾から得た知識を新たなデザイン発想やコーディネート表現へと応用できる力を身につけることを目標とする。	1・通年	60	2	○			○			○	

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションデザイン画	ファッションデザイン画は、人体プロポーションと衣服のバランスを把握し、イメージするデザインやコーディネートを具体的に描く技法を身につけることを目標とする。	1・前期	30	1		○		○		○		
○			コンピュータワーク	様々な目的・用途に応じたソフトの利用が出来ること、表現手法に広がりを持たせ、かつクオリティーを高めることを目的とする。 他学科の課題制作が自由に行えるように内容を構成し、2年次に向けての基礎を固めていく。 ・ドロー系ソフト/Illustratorの基礎とペイント系ソフト/Photoshopの基礎 ビジネスソフト/Excel・PowerPointの基礎	1・通年	60	2		○		○		○	○	
		○	自由選択(語学)ファッション英会話	ファッションを専攻する学生が対象なので、ファッションに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラスを5つのレベルに分けて運営する。 プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通して日常会話の疑似体験をできるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。	1・通年	60	2		○		○		○	○	
		○	自由選択(語学)オーラルコミュニケーション	初歩の英文法を学習している学生対象のコース。なかなか心理的に壁があり話したくても会話ができない状況を打破するために体得をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な間違えを直すより、自分の考えを表現できるようにすることを重視する。	1・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)TOEIC	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。 TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てるのでビジネス英語の導入としてもとらえている。	1・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えさせます。 初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。 準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩の表現についてトレーニングします。中検4級基準。	1・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)日本語(留学生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必要とされる日本語レベルの習得を目標にする。授業では、ファッション用語・文法・敬語表現を中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュニケーション力向上も視野に入れる。目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	1・通年	60	2		○		○			○	

授業科目等の概要														
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員	
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任
		○	自由選択A ファッションデザイン画a	今まで習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・前期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択B ファッションデザイン画a	前期で習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択A ファッションデザイン画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1・前期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択B ファッションデザイン画a	前期で習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択B ファッションデザイン画b	流通コース1年としての基本的デザイン画の描写力のスキルアップをめざす。 服のコーディネート、小物類など、ビジュアルでの個性重視を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	1・前期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択B バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	1・後期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択B 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子的製作し知識・技術を取得する。	1・後期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択A ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1・前期	30	1	△	○		○		○	
		○	自由選択B ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1・後期	30	1	△	○		○		○	

授業科目等の概要														
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員	
必修	選択 必修	自由 選択						講 義	演 習	実験・ 実習・ 実技	校 内	校 外	専 任	兼 任
		○	自由選択A アートフラワー	アクセサリ、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・前期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択B アートフラワー	アクセサリ、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・後期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択A ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色系刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	1・前期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択B ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レリーフライク表現(スモッキング)・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色系刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	1・後期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択A ソーイング <sup>a</sup>	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1			○	○		○	
		○	自由選択A ソーイング <sup>b</sup>	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1			○	○		○	
		○	自由選択A ソーイング <sup>c</sup>	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・前期	30	1			○	○		○	
		○	自由選択B ソーイング <sup>a</sup>	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1			○	○		○	
		○	自由選択B ソーイング <sup>b</sup>	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1			○	○		○	
		○	自由選択B ソーイング <sup>c</sup>	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・後期	30	1			○	○		○	

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必修	選択 必修	自由 選択						講 義	演 習	実験・ 実習・ 実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
		○	自由選択B 染色	各自が他教科の制作物に应用可能は各種染色技法を、実習を通して習得させる。 さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	1・ 後期	30	1			○	○		○		
○			自由研究 A	日頃の学習を基礎とし、専門職業人を目指すものとしての意識の高揚をはかる。 将来の職業選択、キャリア形成のための自己学習。	1・ 前期	30	1			○	○		○		
	○		自由研究 B	1年間の集大成として、履修したカリキュラム内容をベースに学生自身でテーマを見つけ、将来のキャリアステップになるような研究を各自で行う。	1・ 後期	60	2			○	○		○		
	○		企業研修	ファッション産業の各分野においてファッション産業の発展に寄与する人材の育成を目的とし、現場業務の体験を通して職業意識の醸成につなげることを目的とする。また、就労体験をとおして自らの適性や能力について実践的に考えさせ、就職活動に向けて動機づけるための機会とする。	1・ 後期	90	3			○		○		○	
○			キャリア開発	自分を知る、キャリアをプランする、就職対策をテーマに、学生個々人が将来、社会的・職業的に自立し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲と技能、知識、社会人基礎力を育てる。特に多くの卒業生とふれあい、ファッション業界の生の情報を共有する機会を持つことで、将来の職業選択を容易にする。	1・ 通年	60	2		○	○	○		○		
○			特別講義 I	レギュラー授業に含まれない人材育成のために、講義をはじめファッション流通で学ぶ上で、今後に役立つ知識を習得する。	1・ 通年	60	2	○			○			○	
○			校外研修 I	課外活動を通じて見聞を広めながら団体生活の規律や指導を学び、さらに学生相互の親睦を深める。 ファッション流通業における経営や仕入れや販売、ディスプレイ、スタイリング、ヘアメイク、販売促進・PRなど、ビジネスにおける情報活用の重要性が高まっている現状において、専門科目における情報収集・分析のスキルとは別に、市場や展示会、美術館、舞台衣装などの見学を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。	1・ 前期	30	1			○		○	○		
学年合計				42科目					1050単位時間(				35	単位)	

授業科目等の概要														
(ファッション流通専門課程ファッション流通科スタイリストコース) 平成29年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任
○			スタイリストワークA	スタイリスト・スタイリストアシスタントの仕事の役割を理解させる。スタイリストの現場において、即戦力となる実務・知識・技術をの習得を目指す。	2・前期	60	2	○		△	○		○	
○			スタイリストワークB	スタイリスト・スタイリストアシスタントの仕事の役割を理解させる。スタイリストの現場において、即戦力となる実務・知識・技術をの習得を目指す。	2・後期	60	2	○		△	○		○	
○			ディレクションワーク	スタイリング表現をするにあたり、その目的をしっかりと捉え明確にすること、また目的実現のためには何をすべきなのかをきちんと組み立てる、他人と共有するその方法を学ぶ。	2・通年	60	2	○		△	○			○
○			カメラワーク	写真撮影の基礎知識を学び、アパレル授業で学生自身が作った作品をスタイリング撮影し、自分の好きな世界観の追求、服の見せ方スタイリングのポイントを学ぶ。	2・通年	30	1		○		○			○
○			アパレル演習A	カジュアルウェア製作(リメイクウェア製作を含む)を通してカジュアルウェアの基本知識、デザイン、パターンの工夫、素材の扱い、縫製テクニック、コーディネートについて理解させることを目標とし、新入生歓迎ショーとして発表することで、ファッションショーの制作過程と各スタッフの役割を習得する。 ・バザー作品製作を通してファッション小物としての商品の企画、製作、販売を学ぶ。	2・前期	90	3		○		○			○
○			アパレル演習B	アパレル商品としてのフォーマルウェアを学ぶことで、素材の特徴や扱い、客観的に捉えたファッションコーディネートなど作品製作を通して着こなしなどを理解させることを目標とする。	2・後期	60	2		○		○			○
○			アパレル商品論	スタイリストに必要なアパレル商品知識をアイテム毎に名称、ディテール、素材、縫製やフィッティングのチェックポイント及び取扱いなどを学び、レポートを制作することにより知識を理解・修得し、商品選択眼を養う。	2・通年	60	2	○			○			○
○			染色・加工演習	スタイリストの実務において、クライアントからの染色関連の依頼に対応できる知識・技術を習得させる事を目標とする。 染色・加工の観点から、商品選択の幅を広げ発展させてゆけるよう指導する。	2・前期	30	1		○		○			○
○			アクセサリー論・演習	ファッションコーディネートに必要なファッショングッズの専門知識と技術を学ぶ。 作品製作を通しアクセサリーと衣服のコーディネーション力・バランス感覚を身につける。	2・通年	60	2	○	△		○			○

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科スタイリストコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションスタイリング	2年間を通してファッションコーディネートの基本的な知識と技術を習得する。時代への適応力客観的に捉えたファッションコーディネートの提案能力を養う。素材や柄、アクセサリ、シルエット、体型カバーなどに視点を置きファッションコーディネートのテクニックの講義を主体にし、スタイリング実習 プレゼンテーションを行う。	2・通年	60	2	○		△	○		○		
○			ディスプレイ	ディスプレイの目的と役割を学び、店舗での販売促進やPRシーン等のショーイングテクニックを演習から学ぶ。 構成、道具、用具の使い方、演出物の選び方や作ることができ、美しく飾り付けができるようになる。 ディスプレイプランニングではテーマ/コンセプト、シーズン、カラー、ディスプレイデザイン画によって「いつ/どこに/何を/誰に/どのように」という人に伝えるプレゼンテーションを制作	2・通年	30	1		○		○			○	
○			ヘアメイク	企業と連携して、プロのメイクアップアーティストが実際に現場で使用している用具の取り扱い方やイメージ別メイクの特徴とテクニックを学び、実践技術を身に付け、トータルコーディネートの可能性を広げる。	2・通年	60	2		○		○		○	○	○
		○	自由選択(語学)ファッション英会話	ファッションを専攻する学生が対象なので、ファッションに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラスを5つのレベルに分けて運営する。 プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通して日常会話の疑似体験をできるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。	2・通年	60	2		○		○		○	○	
		○	自由選択(語学)オーラルコミュニケーション	初歩の英文法を学習している学生対象のコース。心理的に壁があり話したくても会話ができない状況を打破するために体得をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な間違えを直すより、自分の考えを表現できるようにすることを重視する。	2・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)TOEIC	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。 TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てるのでビジネス英語の導入としてもとらえている。	2・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えます。 初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。 準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩の表現についてトレーニングします。中検4級基準。	2・通年	60	2		○		○			○	

授業科目等の概要																
(ファッション流通専門課程ファッション流通科スタイリストコース) 平成29年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
		○	自由選択(語学) 日本語(留学生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必要とされる日本語レベルの習得を目標にする。授業では、ファッション用語・文法・敬語表現を中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュニケーション力向上も視野に入れる。目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	2・通年	60	2		○		○				○	
		○	自由選択A ファッションデザイン画a	今まで習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	2・前期	30	1		○		○			○		
		○	自由選択A ファッションデザイン画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2・前期	30	1		○		○			○		
		○	自由選択B ファッションデザイン画a	今まで習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	2・後期	30	1		○		○			○		
		○	自由選択B ファッションデザイン画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2・後期	30	1		○		○			○		
		○	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・前期	30	1		○		○			○		
		○	自由選択B バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・後期	30	1		○		○			○		
		○	自由選択A 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子的製作し知識・技術を取得する。	2・前期	30	1		○		○			○		
		○	自由選択B 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子的製作し知識・技術を取得する。	2・後期	30	1		○		○			○		
		○	自由選択A 帽子b	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子的製作し知識・技術を取得する。	2・前期	30	1		○		○			○		
		○	自由選択B 帽子b	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子的製作し知識・技術を取得する。	2・後期	30	1		○		○			○		



授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科スタイリストコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2・前期	30	1	△	○		○		○		
		○	自由選択B ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2・後期	30	1	△	○		○		○		
		○	自由選択A アートフラワー	アクセサリ、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B アートフラワー	アクセサリ、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2期・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2期・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・後期	30	1			○	○		○		

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科スタイリストコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択B ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A 染色	各自が他教科の制作物に应用可能な各種染色技法を、実習を通して習得させる。 さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	2・前期	30	1			○	○		○		
○			特別講義Ⅱ	学内外の博物館、企画展示見学を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。 研修旅行実施にあたっての予備知識を習得する。	2・通年	60	2	○			○			○	
○			校外研修Ⅱ	研修旅行(神社、仏閣、庭園の鑑賞、企業見学(ワコール、川島織物))を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。	2・前期	30	1			○		○	○		
		○	インターンシップa	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追及と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。	2・後期	30	1			○	○			○	
		○	インターンシップb		2・後期	60	2			○	○			○	
		○	インターンシップc		2・後期	90	3			○	○			○	
○			イベント実習A	ファッションショーの制作過程と各ポジションの役割分担を学ぶ。アパレル演習で制作したカジュアルウェアを、新入生歓迎ショーとして発表する。	2・前期	30	1			○	○		○		
○			卒業研究・創作	2年間の学習の集大成として、卒業制作ショーを行う。 ファッションショーの企画、演出から作品製作まで、2年間学んだ知識と技術を結集し、発表させる。 学生個々での研究創作とした作品制作及びプレゼンテーション・展示発表まで行う。	2・後期	180	6			○	○		○		
学年合計				47科目	960単位時間( 32 単位)										
総合計				89科目	2010単位時間( 67 単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること		1 学年の学期区分	前期・後期
		1 学期の授業期間	15週
(留意事項)			
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。			
2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。			

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションビジネス	ファッション流通業に必要なとされるファッションビジネスに関する基礎を学びながら、ファッションビジネス能力検定3級資格の取得を目指し、さらに企画について情報活用・提案までを理解する。	1・通年	60	2	○			○		○		
○			アパレル商品論・演習A	流通全般に必要なアパレル商品としてのスカート、パンツ、シャツ・ブラウス、ジャケットの基礎知識を理解させる。 基本型の各アイテムを製作し、発表することでファッションコーディネート技術を学習させる。 バザー作品のファッション小物の製作を通じて商品を理解させる。	1・前期	180	6	○	△		○		○		
○			アパレル商品論・演習B		1・後期	180	6	○	△	○	○		○		
○			ファッションコーディネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネートの提案能力を養う。 実物を使用して、実践的に取り組みながら学習することを目標とする。	1・通年	60	2	○		△	○		○		
○			マーケットリサーチ	・「調べる・見る・聞く」というリサーチの基本を、ショップや街などのリサーチとレポートを通して修得させる。 ・ファッション産業の構造を理解し、小売業態別にリサーチを行い、それぞれの特徴をまとめ、理解する。 ・目的に合わせたリサーチを実践し、得られた情報を分析し、企画に結びつける。	1・通年	60	2	○		△	○		○		
○			ファッション色彩	ファッション流通の色彩に関する基礎的な技術や知識を、演習を中心に学びながら習得する。 ファッション色彩能力検定3級に対応。テキストの内容に沿った講義や実習プリントの学習を通して、色彩の基本的な知識、配色の基礎、ファッションカラーコーディネーションのセオリーなどを理解し、ファッションの現場で活用できる能力を身につける。	1・通年	60	2	△	○		○		○	○	○
○			アパレル素材論	アパレル製品の主な材料であるテキスタイル(布地)とそれを構成する繊維原料、糸、またそれらの整理・仕上げ・染色加工などに関する基礎知識について「講義」「演習」「実験」を通して学習する。さらに、テキスタイルおよびアパレル業界のつながりや現状とも関連付けながら解説する。	1・通年	60	2	○	△	△	○		○		
○			ファッション史	古代から現代までの西洋服飾の変遷を時代背景、文化的背景と結びつけながら解説します。 各時代の服飾の特徴と現代ファッションとの関連性にも着目しながら、過去の服飾から得た知識を新たなデザイン発想やコーディネート表現へと応用できる力を身につけることを目標とする。	1・通年	60	2	○			○			○	

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションデザイン画	ファッションデザイン画は、人体プロポーションと衣服のバランスを把握し、イメージするデザインやコーディネートを具体的に描く技法を身につけることを目標とする。	1・前期	30	1		○		○		○		
○			コンピュータワーク	様々な目的・用途に応じたソフトの利用が出来ること、表現手法に広がりを持たせ、かつクオリティーを高めることを目的とする。 他学科の課題制作が自由に行えるように内容を構成し、2年次に向けての基礎を固めていく。 ・ドロー系ソフト/Illustratorの基礎とペイント系ソフト/Photoshopの基礎 ビジネスソフト/Excel・PowerPointの基礎	1・通年	60	2		○		○		○	○	
		○	自由選択(語学)ファッション英会話	ファッションを専攻する学生が対象なので、ファッションに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラスを5つのレベルに分けて運営する。 プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通して日常会話の疑似体験をできるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。	1・通年	60	2		○		○		○	○	
		○	自由選択(語学)オーラルコミュニケーション	初歩の英文法を学習している学生対象のコース。なかなか心理的に壁があり話したくても会話ができない状況を打破するために体得をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な間違えを直すより、自分の考えを表現できるようにすることを重視する。	1・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)TOEIC	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。 TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てるのでビジネス英語の導入としてもとらえている。	1・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えさせます。 初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。 準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩の表現についてトレーニングします。中検4級基準。	1・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)日本語(留学生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必要とされる日本語レベルの習得を目標にする。授業では、ファッション用語・文法・敬語表現を中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュニケーション力向上も視野に入れる。目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	1・通年	60	2		○		○			○	

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A ファッションデザイン画a	今まで習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ファッションデザイン画a	前期で習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ファッションデザイン画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ファッションデザイン画a	前期で習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ファッションデザイン画b	流通コース1年としての基本的デザイン画の描写力のスキルアップをめざす。 服のコーディネート、小物類など、ビジュアルでの個性重視を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリの基礎として布地による基本的な帽子的製作し知識・技術を取得する。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1・前期	30	1	△	○		○		○		
		○	自由選択B ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1・後期	30	1	△	○		○		○		

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との 連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色系刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レリーフライク表現(スモッキング)・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色系刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・後期	30	1			○	○		○		

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択B 染色	各自が他教科の制作物に应用可能は各種染色技法を、実習を通して習得させる。さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	1・後期	30	1			○	○		○		
○			自由研究 A	日頃の学習を基礎とし、専門職業人を目指すものとしての意識の高揚をはかる。将来の職業選択、キャリア形成のための自己学習。	1・前期	30	1			○	○		○		
	○		自由研究 B	1年間の集大成として、履修したカリキュラム内容をベースに学生自身でテーマを見つけ、将来のキャリアステップになるような研究を各自で行う。	1・後期	60	2			○	○		○		
	○		企業研修	ファッション産業の各分野においてファッション産業の発展に寄与する人材の育成を目的とし、現場業務の体験を通して職業意識の醸成につなげることを目的とする。また、就労体験をとおして自らの適性や能力について実践的に考えさせ、就職活動に向けて動機づけるための機会とする。	1・後期	90	3			○		○		○	
○			キャリア開発	自分を知る、キャリアをプランする、就職対策をテーマに、学生個々人が将来、社会的・職業的に自立し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲と技能、知識、社会人基礎力を育てる。特に多くの卒業生とふれあい、ファッション業界の生の情報を共有する機会を持つことで、将来の職業選択を容易にする。	1・通年	60	2		○	○	○		○		
○			特別講義 I	レギュラー授業に含まれない人材育成のために、講義をはじめファッション流通で学ぶ上で、今後に役立つ知識を習得する。	1・通年	60	2	○			○			○	
○			校外研修 I	課外活動を通じて見聞を広めながら団体生活の規律や指導を学び、さらに学生相互の親睦を深める。 ファッション流通業における経営や仕入れや販売、ディスプレイ、スタイリング、ヘアメイク、販売促進・PRなど、ビジネスにおける情報活用の重要性が高まっている現状において、専門科目における情報収集・分析のスキルとは別に、市場や展示会、美術館、舞台衣装などの見学を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。	1・前期	30	1			○		○	○		
学年合計				42科目	1050単位時間( 35 単位)										

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ショップスタイリストコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			セー ル ス コ ー デ ィ ネ ー ト	●ファッションコーディネートの方法とそのテクニックを習得しコーディネート力を養う ・お客様視点に立ったコーディネートが組める ・コーディネートの提案と実践を繰り返し学習し感性を理論に置き換える ●4つの視点で学習する ①アクセサリーに視点を置く②体型カバーに視点を置く③素材に視点を置く④販売促進カレンダーに添わせる	2・通年	60	2	○			○		○		
○			接客対応スキル（基礎）	1. ショップスタイリストとしての立ち居振る舞いから応対までの知識と実践力を身につける。 2. お客様視点での判断と行動ができる 3. 販売の楽しさを知る 4. 会話を身につけさせる 5. プレゼンテーション能力の向上	2・前期	90	3		○		○		○		
○			接客対応スキル（応用）		2・後期	90	3		○		○		○		
○			アパレル商品論	ファッションアドバイザーになるために必要なアパレル商品知識を身に付けることを目標とする。 1年次に習得した商品知識を軸にし、各アイテムの服の構造やディテールの名称をより深く、パターン展開や部分縫いなど講義だけでなく実技演習からも知識を習得する。またフォーマルスペシャリスト検定準2級を必須受験し、合格を目標とする。	2・通年	60	2	△	○	△	○		○		
○			アパレル演習A	・カジュアルウェア(リメイク含む)の製作を通して、カジュアルウェアの概念、デザイン、パターン、素材、テクニック、着こなしについて理解させる。新入生歓迎ショーとして発表する。 ・バザー作品の製作を通して、生活雑貨・アクセサリーの企画、製作方法、販売について学ぶ。	2・前期	90	3		○		○		○		
○			アパレル演習B	フォーマルウェアの一般知識、素材の特徴と扱い、着こなしなどについて、作品製作を通して理解させる。	2・後期	60	2		○		○		○		
○			ファッションマーケティング	リサーチやヒアリングを繰り返し行い、客観的にモノを見る目を養い、情報収取の重要性を知る。また、得た情報を基にショッププランニングを行うことで情報分析力、アイデアを出す力を身につけ、店舗におけるマーケティングの重要性を学ぶ。セールスプロモーション、VMDとの連携を行い企画に専門性、厚みをつける。	2・通年	60	2		○		○		○		



授業科目等の概要																
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ショップスタイリストコース) 平成29年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			ビジュアル マーチャン ダイジング	店作りの政策、VMDを理解しマニュアルを制作し、ショーイングテクニックから魅力のある演出ができるようになり、お客様が店に興味を持ち、売り場を回遊し、商品が見やすく、選びやすい、購入し再来店して頂く為の売り場作りを行う。 用語の理解と商品に合わせた売り場什器のレイアウトと商品陳列の方法、ディスプレイデザインの考案。 テクニックから構成と道具、用具の使い方を演出を通して学ぶ。	2・通年	60	2		○		○				○	
○			売場計数	ショップスタッフとして必要となるショップ計数についての基本的な知識の修得を目標とする。 店メンバーとコミュニケーションを取る上で必要となる計数用語を理解し、計算演習を通して日々の計数管理業務が最低限できるようになることを目指す。	2・後期	30	1		○	△		○		○		
○			セールス プロモーション・演習	販売の現場で役立つ販売促進(セールスプロモーション)知識の修得を目指す。販売促進を成り立たせているマーケティング環境やプロモーション理論が、どのように具体的な販売促進へと繋がっているのかを知る事で、店頭で日々行われている活動の本質を理解する。並行してPCやインターネットを使った実践的な実技課題をこなす事で、即戦力となり得る人材を育てる。	2・後期	30	1		○			○			○	
○			産学連携プログラム(接客サービス)	三越伊勢丹で行っている販売サービスを講義と実践で学ぶことで、将来のショップスタイリストになるための意識づけとファッション業界で働くための即戦力となる人材を育成する。	2・前期	30	1		○			○		○		
○			ビジネスコミュニケーション	1. 社会人としてのマナーや心構えといったビジネスマナーを習得し、就職活動への準備を行う。 2. ショップスタイリストに必要なコミュニケーション能力(話す技術、聴く技術、表現力)を理解・習得させる。 3. 学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を身につけさせる。	2・前期	30	1		○			○		○		
○			アパレル品質論	アパレルの企画、設計、生産、流通における品質管理の知識を習得し、品質情報を把握した上で素材特性や取扱い方法に関するセールストークにつなげられるよう、以下の①～③について講義、演習、実習を通して理解させる。 ①素材の特性を把握する為の物性試験や製品の実用性能を管理するための各種試験方法、評価法、基準値 ②アパレルに関する法や規制、規格（家庭用品品質表示法、加工剤の有害物質規制、他） ③アパレルの取扱い	2・後期	30	1		△	○	△		○		○	

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ショップスタイリストコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			パーソナルメイク	ショップスタイリストとして、さまざまなメイクアップの技術と知識を学び、トータルコーディネート提案の幅を広げる。	2・前期	30	1		○		○		○		
○			パーソナルカラー	1年次で学んだ色彩理論や配色コーディネート力を基に、ファッション業界の色の活用として知られる「似合う色」について実践する。色素(肌・髪・眼)を的確に判断し、理論的に似合う色を導く方法を身につけて、接客に即活かせる色感を養う。「自分ブランディング」による自己確立を踏まえ、少人数による接客アドバイスやプレゼン、ディスカッションを繰り返し、「コンサルティング接客」能力を磨くことを目指す。	2・前期	30	1	○			○			○	○
		○	自由選択(語学)ファッション英会話	ファッションを専攻する学生が対象なので、ファッションに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラスを5つのレベルに分けて運営する。プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通して日常会話の疑似体験をできるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。	2・通年	60	2		○		○		○	○	
		○	自由選択(語学)オーラルコミュニケーション	初歩の英文法を学習している学生対象のコース。心理的に壁があり話したくても会話ができない状況を打破するために体得をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な間違いを直すより、自分の考えを表現できるようにすることを重視する。	2・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)TOEIC	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てるのでビジネス英語の導入としてもとらえている。	2・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩の表現についてトレーニングします。中検4級基準。	2・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)日本語(留学生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必要とされる日本語レベルの習得を目標にする。授業では、ファッション用語・文法・敬語表現を中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュニケーション力向上も視野に入れる。目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	2・通年	60	2		○		○			○	

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ショップスタイリストコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A ファッションデザイン画a	今まで習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。 明確な製品図を習得する事を目標とする。	2・前期	30	1		○		○			○	
		○	自由選択A ファッションデザイン画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2・前期	30	1		○		○			○	
		○	自由選択B ファッションデザイン画a	今まで習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。 明確な製品図を習得する事を目標とする。	2・後期	30	1		○		○			○	
		○	自由選択B ファッションデザイン画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2・後期	30	1		○		○			○	
		○	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・前期	30	1		○		○			○	
		○	自由選択B バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・後期	30	1		○		○			○	
		○	自由選択A 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A 帽子b	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B 帽子b	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・後期	30	1		○		○		○		

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ショップスタイリストコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2・前期	30	1	△	○		○		○		
		○	自由選択B ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2・後期	30	1	△	○		○		○		
		○	自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色系刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色系刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2・前期	30	1			○	○		○		

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ショップスタイリストコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A 染色	各自が他教科の制作物に応用可能な各種染色技法を、実習を通して習得させる。 さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	2・前期	30	1			○	○		○		
○			特別講義Ⅱ	学内外の博物館、企画展示見学を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。 研修旅行実施にあたっての予備知識を習得する。	2・通年	60	2	○			○			○	
○			校外研修Ⅱ	研修旅行(神社、仏閣、庭園の鑑賞、企業見学(ワコール、川島織物))を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。	2・前期	30	1			○		○	○		
		○	インターンシップa	アパレル業界の現場・現状を把握させるために、アパレル企業で実際に研修を受けることで、学校教育で体験できない実学を学ぶ。	2・後期	30	1			○		○		○	
		○	インターンシップb		2・後期	60	2			○		○		○	
○			イベント実習A	ファッションショーの制作過程と各ポジションの役割分担を学ぶ。アパレル演習で制作したカジュアルウェアを、新入生歓迎ショーとして発表する。	2・前期	30	1			○	○		○		
○			卒業研究・創作	2年間の学習の集大成として、卒業制作ショーを行う。ファッションショーの企画・演出から作品製作まで、2年間で学んだ知識と技術を結集し発表させる。	2・後期	180	6			○	○		○		
学年合計				49科目	1080単位時間( 36 単位)										
総合計				91科目	2130単位時間( 71 単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること		1 学年の学期区分	前期・後期
		1 学期の授業期間	15週
(留意事項)			
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。			
2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。			

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションビジネス	ファッション流通業に必要なファッションビジネスに関する基礎を学びながら、ファッションビジネス能力検定3級資格の取得を目指し、さらに企画について情報活用・提案までを理解する。	1・通年	60	2	○			○		○		
○			アパレル商品論・演習A	流通全般に必要なアパレル商品としてのスカート、パンツ、シャツ・ブラウス、ジャケットの基礎知識を理解させる。 基本型の各アイテムを製作し、発表することでファッションコーディネート技術を学習させる。 バザー作品のファッション小物の製作を通じて商品を理解させる。	1・前期	180	6	○	△		○		○		
○			アパレル商品論・演習B		1・後期	180	6	○	△	○	○		○		
○			ファッションコーディネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネートの提案能力を養う。 実物を使用して、実践的に取り組みながら学習することを目標とする。	1・通年	60	2	○		△	○		○		
○			マーケットリサーチ	・「調べる・見る・聞く」というリサーチの基本を、ショップや街などのリサーチとレポートを通して修得させる。 ・ファッション産業の構造を理解し、小売業態別にリサーチを行い、それぞれの特徴をまとめ、理解する。 ・目的に合わせたリサーチを実践し、得られた情報を分析し、企画に結びつける。	1・通年	60	2	○		△	○		○		
○			ファッション色彩	ファッション流通の色彩に関する基礎的な技術や知識を、演習を中心に学びながら習得する。 ファッション色彩能力検定3級に対応。テキストの内容に沿った講義や実習プリントの学習を通して、色彩の基本的な知識、配色の基礎、ファッションカラーコーディネーションのセオリーなどを理解し、ファッションの現場で活用できる能力を身につける。	1・通年	60	2	△	○		○		○	○	○
○			アパレル素材論	アパレル製品の主な材料であるテキスタイル(布地)とそれを構成する繊維原料、糸、またそれらの整理・仕上げ・染色加工などに関する基礎知識について「講義」「演習」「実験」を通して学習する。さらに、テキスタイルおよびアパレル業界のつながりや現状とも関連付けながら解説する。	1・通年	60	2	○	△	△	○		○		
○			ファッション史	古代から現代までの西洋服飾の変遷を時代背景、文化的背景と結びつけながら解説します。 各時代の服飾の特徴と現代ファッションとの関連性にも着目しながら、過去の服飾から得た知識を新たなデザイン発想やコーディネート表現へと応用できる力を身につけることを目標とする。	1・通年	60	2	○			○			○	

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションデザイン画	ファッションデザイン画は、人体プロポーションと衣服のバランスを把握し、イメージするデザインやコーディネートを具体的に描く技法を身につけることを目標とする。	1・前期	30	1		○		○		○		
○			コンピュータワーク	様々な目的・用途に応じたソフトの利用が出来ること、表現手法に広がりを持たせ、かつクオリティーを高めることを目的とする。 他学科の課題制作が自由に行えるように内容を構成し、2年次に向けての基礎を固めていく。 ・ドロー系ソフト/Illustratorの基礎とペイント系ソフト/Photoshopの基礎 ビジネスソフト/Excel・PowerPointの基礎	1・通年	60	2		○		○		○	○	
		○	自由選択(語学)ファッション英会話	ファッションを専攻する学生が対象なので、ファッションに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラスを5つのレベルに分けて運営する。 プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通して日常会話の疑似体験をできるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。	1・通年	60	2		○		○		○	○	
		○	自由選択(語学)オーラルコミュニケーション	初歩の英文法を学習している学生対象のコース。なかなか心理的に壁があり話したくても会話ができない状況を打破するために体得をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な間違えを直すより、自分の考えを表現できるようにすることを重視する。	1・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)TOEIC	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。 TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てるのでビジネス英語の導入としてもとらえている。	1・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えさせます。 初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。 準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩の表現についてトレーニングします。中検4級基準。	1・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)日本語(留学生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必要とされる日本語レベルの習得を目標にする。授業では、ファッション用語・文法・敬語表現を中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュニケーション力向上も視野に入れる。目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	1・通年	60	2		○		○			○	

授業科目等の概要														
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員	
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任
		○	自由選択A ファッションデザイン画a	今まで習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・前期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択B ファッションデザイン画a	前期で習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択A ファッションデザイン画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1・前期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択B ファッションデザイン画a	前期で習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択B ファッションデザイン画b	流通コース1年としての基本的デザイン画の描写力のスキルアップをめざす。 服のコーディネート、小物類など、ビジュアルでの個性重視を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	1・前期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択B バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	1・後期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択B 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリの基礎として布地による基本的な帽子的製作し知識・技術を取得する。	1・後期	30	1		○		○		○	
		○	自由選択A ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1・前期	30	1	△	○		○		○	
		○	自由選択B ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1・後期	30	1	△	○		○		○	



授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との 連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色系刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レリーフライク表現(スモッキング)・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色系刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・後期	30	1			○	○		○		

1050單位時間( 35 單位)

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科リテールプランニングコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			リテールマーチャングデザインA	文化祭での店舗出店に向けての実務を通して、リテールマーチャングデザインに必要な知識を得ることを目標とする。 具体的にターゲット設定、店舗コンセプト、商品構成、店舗面積、店舗イメージ、販売サービス、販促、計数管理などの実践を行い、社会に出てから必要となる実務のシミュレーションを行う。	2・前期	120	4	○			○		○		
○			リテールマーチャングデザインB		2・後期	120	4	○			○		○		
○			リテールマーチャング計数	アパレル小売業の多くが現在使用している店計数に関する基礎知識の習得を目標とする。 ①計数用語の解説と計算式の理解及び演習 ②実際店舗で使用している計画書、報告書などの書類の紹介 ③文化祭出店における計数管理。	2・通年	90	3	○	△		○		○		
○			ビジュアルマーチャングデザイン	企業の理念や経営システムに基づいた商品政策・商品演出のことであり、五感に訴える売り場作りの戦略・戦術です。授業ではその基礎知識と共に実社会でも即活用できるテクニックを学び、文化祭の店舗RE・TENTにて実践していきます。また実店舗に於いてのVMD計画を立てて実習し、独自のVMDの企画書を完成させる。	2・通年	60	2		○		○			○	
○			セールスプロモーション	プロモーションの手法が多岐に渡る現在において、基本的なプロモーション手法の理解と共に、常に変化に対応できるよう、企画力、対応力、柔軟性を高めていくことに重点を置き、講義を行う。	2・通年	30	1	○			○				○
○			アパレル商品論	ファッションアドバイザーやバイヤー、企業を目指すために必要なアパレル商品知識を身に付けることを目標とする。 1年次に習得した商品知識を軸にし、各アイテムごとに服の構造やディテールの名称をより深く、実務的な視点から理解するためアパレル製造論とも連動し、リメイクや部分縫いなど講義だけでなく実技演習からも知識を習得する。	2・通年	60	2	△	○	△	○			○	
○			販売実務	・販売員として、基本的な立ち居振る舞いから応対までの知識と実践力を身につけ。 ・お客様視点での判断と行動ができ、販売の楽しさや難しさなど、ロールプレイングを通じて体感する ・文化祭RE・TENTにおいて、「おもてなし」をチームごとに考えさせ、体現させる ・プレゼンテーション力を養う	2・通年	90	3	○	△		○			○	

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科リテールプランニングコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			インターネットビジネス	ファッションビジネスにおいて、インターネットの活用は必須となり、ブランディング、マーケティング、プロモーション、販売等、活用の方法が多岐にわたってきている。ブランドの戦略や成長に欠かすことのできないインターネットの活用を、ECを実際に構築したり、SNSを利用してプロモーションをしたりなど、実践からインターネットビジネスについて理解を深める。	2・通年	30	1	○	△		○			○	○
○			パーソナルカラー	1年次の色彩学や配色理論をもとに、ファッション業界の現場でビジネススキルとして活用する「パーソナルカラー」の習得を目指す。色を使ったクライアント対応の他、文化祭での店舗計画にも色を活かす内容とする。(＊パーソナルカラー検定3級、2級を受験できる内容)	2・前期	30	1	△	○		○			○	○
○			メディアワーク	1年次に習ったアプリケーションソフトを復習しながら、店舗、商品のPRに活かす販促物のデザインを中心に、表計算ソフトなども交えながら課題を製作し、実務に活かすスキルを身につける。	2・通年	60	2	○	△		○			○	
		○	自由選択(語学)ファッション英会話	ファッションを専攻する学生が対象なので、ファッションに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラスを5つのレベルに分けて運営する。プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通し日常会話の疑似体験をできるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。	2・通年	60	2		○		○			○	○
		○	自由選択(語学)オーラルコミュニケーション	初歩の英文法を学習している学生対象のコース。心理的に壁があり話したくても会話ができない状況を打破するために体得をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な間違いを直すより、自分の考えを表現できるようにすることを重視する。	2・通年	60	2		○		○				○
		○	自由選択(語学)TOEIC	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てるのでビジネス英語の導入としてもとらえている。	2・通年	60	2		○		○				○
		○	自由選択(語学)中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩の表現についてトレーニングします。中検4級基準。	2・通年	60	2		○		○				○

授業科目等の概要																
(ファッション流通専門課程ファッション流通科リテールプランニングコース) 平成29年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
		○	自由選択 (語学) 日本語(留学生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必要とされる日本語レベルの習得を目標にする。授業では、ファッション用語・文法・敬語表現を中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュニケーション力向上も視野に入れる。目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	2・通年	60	2		○		○			○		
		○	自由選択A ファッションデザイン画a	今まで習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	2・前期	30	1		○		○		○			
		○	自由選択A ファッションデザイン画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2・前期	30	1		○		○		○			
		○	自由選択B ファッションデザイン画a	今まで習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○			
		○	自由選択B ファッションデザイン画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1・後期	30	1		○		○		○			
		○	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・前期	30	1		○		○		○			
		○	自由選択B バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・後期	30	1		○		○		○			
		○	自由選択A 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・前期	30	1		○		○		○			
		○	自由選択B 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・後期	30	1		○		○		○			

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科リテールプランニングコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A 帽子b	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B 帽子b	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2・前期	30	1	△	○		○		○		
		○	自由選択B ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2・後期	30	1	△	○		○		○		
		○	自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色系刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色系刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	2・後期	30	1		○		○		○		

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科リテールプランニングコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A ソーイング <sup>a</sup>	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイング <sup>b</sup>	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイング <sup>c</sup>	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイング <sup>a</sup>	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイング <sup>b</sup>	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイング <sup>c</sup>	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A 染色	各自が他教科の制作物に活用可能な各種染色技法を、実習を通して習得させる。 さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	2・前期	30	1			○	○		○		
○			特別講義Ⅱ	学内外の博物館、企画展示見学を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。 研修旅行実施にあたっての予備知識を習得する。	2・通年	60	2	○			○			○	
○			校外研修Ⅱ	・研修旅行における企業見学(カイハラ株式会社、マツダ株式会社)を通し、産業の現場を幅広く理解させる。	2・前期	30	1			○		○	○		
		○	インターンシップ <sup>a</sup>	将来のキャリアを視野に入れ、各自の専門性追求と業界・業態・職業自体への理解を深めることを目的とする。 在学中より将来就きたい職種の現場に身を置き、経験を積む。その経験をもとに、自ら学びを深め就職へと繋げる。	2・通年	30	1			○		○		○	
		○	インターンシップ <sup>b</sup>		2・通年	60	2			○		○		○	

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科リテールプランニングコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			イ ベ ント 実 習A	ファッションショーの制作過程と各ポジションの役割分担を学ぶ。 アパレル演習で制作したカジュアルウェアを、新入生歓迎ショーとして発表する。	2・前期	30	1			○	○		○		
○			卒 業 研 究 ・ 創 作	2年間の学習の集大成として、卒業制作ショーを行う。 ファッションショーの企画、演出から作品製作まで、2年間学んだ知識と技術を結集し、発表させる。	2・後期	150	5			○	○		○		
学年合計			44科目			960単位時間( 32 単位)									
総合計			86科目			2010単位時間( 67 単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること		1 学年の学期区分	前期・後期
		1 学期の授業期間	15週
(留意事項)			
1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。			
2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。			



授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションビジネス	ファッション流通業に必要なとされるファッションビジネスに関する基礎を学びながら、ファッションビジネス能力検定3級資格の取得を目指し、さらに企画について情報活用・提案までを理解する。	1・通年	60	2	○			○		○		
○			アパレル商品論・演習A	流通全般に必要なアパレル商品としてのスカート、パンツ、シャツ・ブラウス、ジャケットの基礎知識を理解させる。 基本型の各アイテムを製作し、発表することでファッションコーディネート技術を学習させる。 バザー作品のファッション小物の製作を通じて商品を理解させる。	1・前期	180	6	○	△		○		○		
○			アパレル商品論・演習B		1・後期	180	6	○	△	○	○		○		
○			ファッションコーディネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネートの提案能力を養う。 実物を使用して、実践的に取り組みながら学習することを目標とする。	1・通年	60	2	○		△	○		○		
○			マーケットリサーチ	・「調べる・見る・聞く」というリサーチの基本を、ショップや街などのリサーチとレポートを通して修得させる。 ・ファッション産業の構造を理解し、小売業態別にリサーチを行い、それぞれの特徴をまとめ、理解する。 ・目的に合わせたリサーチを実践し、得られた情報を分析し、企画に結びつける。	1・通年	60	2	○		△	○		○		
○			ファッション色彩	ファッション流通の色彩に関する基礎的な技術や知識を、演習を中心に学びながら習得する。 ファッション色彩能力検定3級に対応。テキストの内容に沿った講義や実習プリントの学習を通して、色彩の基本的な知識、配色の基礎、ファッションカラーコーディネーションのセオリーなどを理解し、ファッションの現場で活用できる能力を身につける。	1・通年	60	2	△	○		○		○	○	○
○			アパレル素材論	アパレル製品の主な材料であるテキスタイル(布地)とそれを構成する繊維原料、糸、またそれらの整理・仕上げ・染色加工などに関する基礎知識について「講義」「演習」「実験」を通して学習する。さらに、テキスタイルおよびアパレル業界のつながりや現状とも関連付けながら解説する。	1・通年	60	2	○	△	△	○		○		
○			ファッション史	古代から現代までの西洋服飾の変遷を時代背景、文化的背景と結びつけながら解説します。 各時代の服飾の特徴と現代ファッションとの関連性にも着目しながら、過去の服飾から得た知識を新たなデザイン発想やコーディネート表現へと応用できる力を身につけることを目標とする。	1・通年	60	2	○			○			○	

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションデザイン画	ファッションデザイン画は、人体プロポーションと衣服のバランスを把握し、イメージするデザインやコーディネートをも具体的に描く技法を身につけることを目標とする。	1・前期	30	1		○		○		○		
○			コンピュータワーク	様々な目的・用途に応じたソフトの利用が出来ること、表現手法に広がりを持たせ、かつクオリティーを高めることを目的とする。 他学科の課題制作が自由に行えるように内容を構成し、2年次に向けての基礎を固めていく。 ・ドロー系ソフト/Illustratorの基礎とペイント系ソフト/Photoshopの基礎 ビジネスソフト/Excel・PowerPointの基礎	1・通年	60	2		○		○		○	○	
		○	自由選択(語学)ファッション英会話	ファッションを専攻する学生が対象なので、ファッションに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラスを5つのレベルに分けて運営する。 プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通して日常会話の疑似体験をできるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。	1・通年	60	2		○		○		○	○	
		○	自由選択(語学)オーラルコミュニケーション	初歩の英文法を学習している学生対象のコース。なかなか心理的に壁があり話したくても会話ができない状況を打破するために体得をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な間違えを直すより、自分の考えを表現できるようにすることを重視する。	1・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)TOEIC	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。 TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てるのでビジネス英語の導入としてもとらえている。	1・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えさせます。 初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。 準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩の表現についてトレーニングします。中検4級基準。	1・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択(語学)日本語(留学生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必要とされる日本語レベルの習得を目標にする。授業では、ファッション用語・文法・敬語表現を中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュニケーション力向上も視野に入れる。目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	1・通年	60	2		○		○			○	

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A ファッションデザイン画a	今まで習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ファッションデザイン画a	前期で習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ファッションデザイン画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ファッションデザイン画a	前期で習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ファッションデザイン画b	流通コース1年としての基本的デザイン画の描写力のスキルアップをめざす。 服のコーディネート、小物類など、ビジュアルでの個性重視を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリの基礎として布地による基本的な帽子的製作し知識・技術を取得する。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1・前期	30	1	△	○		○		○		
		○	自由選択B ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1・後期	30	1	△	○		○		○		

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との 連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色系刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レリーフライク表現(スモッキング)・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色系刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・後期	30	1			○	○		○		

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択B 染色	各自が他教科の制作物に应用可能は各種染色技法を、実習を通して習得させる。さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	1・後期	30	1			○	○		○		
○			自由研究 A	日頃の学習を基礎とし、専門職業人を目指すものとしての意識の高揚をはかる。将来の職業選択、キャリア形成のための自己学習。	1・前期	30	1			○	○		○		
	○		自由研究 B	1年間の集大成として、履修したカリキュラム内容をベースに学生自身でテーマを見つけ、将来のキャリアステップになるような研究を各自で行う。	1・後期	60	2			○	○		○		
	○		企業研修	ファッション産業の各分野においてファッション産業の発展に寄与する人材の育成を目的とし、現場業務の体験を通して職業意識の醸成につなげることを目的とする。また、就労体験をとおして自らの適性や能力について実践的に考えさせ、就職活動に向けて動機づけるための機会とする。	1・後期	90	3			○		○		○	
○			キャリア開発	自分を知る、キャリアをプランする、就職対策をテーマに、学生個々人が将来、社会的・職業的に自立し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲と技能、知識、社会人基礎力を育てる。特に多くの卒業生とふれあい、ファッション業界の生の情報を共有する機会を持つことで、将来の職業選択を容易にする。	1・通年	60	2		○	○	○		○		
○			特別講義 I	レギュラー授業に含まれない人材育成のために、講義をはじめファッション流通で学ぶ上で、今後に役立つ知識を習得する。	1・通年	60	2	○			○			○	
○			校外研修 I	課外活動を通じて見聞を広めながら団体生活の規律や指導を学び、さらに学生相互の親睦を深める。 ファッション流通業における経営や仕入れや販売、ディスプレイ、スタイリング、ヘアメイク、販売促進・PRなど、ビジネスにおける情報活用の重要性が高まっている現状において、専門科目における情報収集・分析のスキルとは別に、市場や展示会、美術館、舞台衣装などの見学を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。	1・前期	30	1			○		○	○		
学年合計			42科目			1050単位時間(			35			単位			

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションモデルコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			プロポーション美学A	自分の体形や第一印象を知ることから入り、自己分析を行う。そして、表現力を身に付けながら基本的なモデルウォーキングの動きを習得する。	2・前期	60	2		○	△	○			○	○
○			プロポーション美学B	プロポーション美学Aの基本を踏まえ、ショーや雑誌でのポーズ、また舞台でのウォーキング表現を習得する。	2・後期	60	2		○	△	○			○	○
○			化粧科学	健やかで美しい肌や髪の状態に関する基礎知識、正しいお手入れ法をなど実習を交えながら学びます。 またストレスを自己コントロールしながら、ファッションモデルとして心身ともに健全で美しいトータルビューティの実現を目指します。	2・通年	60	2		○		○			○	
○			ヘア・メイク	企業と連携し、実際に現場で使用されている用具を使用し、様々なヘア・メイクアップの技術と知識を学び、自己表現の可能性を広げる。	2・通年	60	2		○		○		○		
○			操体・ヨガ	自分の身体に集中し、自分の身体の声をきく(原始感覚を養う)。身体の声に従い身体の不都合な所を直す。自分の身体は自分で直す、を基本とする。その方法としてヨガ・操体法を学ぶ。ヨガ・操体共に無駄な力は使わず、正しく行い、正体に近づける。具体的には、ヨガでは呼吸を意識し常に呼吸と共にポーズを行う。易しいポーズ、メインのポーズ、その他のポーズ。操体は身体の快、不快を動きの中で感じ、操体法を使って身体の歪みを直す。	2・通年	30	1		○		○			○	○
○			コンテンポラリーダンス	クラシックバレエノ基礎レッスントストレッチをする事で、しなやかで美しい身体と音楽を感じ空間を意識しながら舞台パフォーマーとしての自己表現力を身に付ける。モデルとして社会に出ていくことができる人材、クライアントや消費者に認めて頂ける自分作りをする。	2・通年	30	1		○		○			○	
		○	ファッションモデル演習	日々の学習の成果を、モデル研修・演習を通して経験し各自モデルとしての、自信につなげることを目標としている。	2・通年	30	1		○		○			○	
○			ファッション商品論・演習A	幅広い商品知識の中からアパレル商品について、商品の分類、種類の名称、色の効果と素材の知識を理解する。 更に新入生歓迎ショー作品(カジュアルウエア)の制作。バザー作品製作。一般的な商品知識を理解する商品マップの制作	2・前期	60	2		○		○			○	
○			ファッション商品論・演習B	フォーマルウエアの制作を通して、フォーマルウエアに適した素材の扱い方、縫製テクニックを修識させる。 フォーマルウエアに合う布地を使用したアクセサリー制作を行う。	2・後期	90	3	○	△		○			○	

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションモデルコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			トータルコーディネート	●ファッションコーディネートの基本的な知識と技術を理論に基づいて実践的に学ぶ。 ●客観的な視点に立ったコーディネートがトータルに組めることを目指す。 ●コーディネートをロジカルに捉えることで感性の理論化を目指す。	2・通年	60	2	○	△		○		○		
○			ファッション情報	ファッション情報の流れと入手方法について学び、ファッション情報を分析、活用する事の重要性を理解する。 ファッション情報の活用を知ること、モデルとしての表現の幅を広げる。	2・通年	30	1	○	△		○		○		
○			ファッション文化史	ファッションには、その時代の社会状況や人々の価値観が反映される。本授業ではファッション・デザイナーの仕事やストリート・ファッションの変遷について概観し、その背景にある時代性を探っていくことで、20世紀ファッションがどのように発展してきたのかについて考察する。 なお、各回ごとに現在のファッション・シーンと照らし合わせて見ていくことによって、ファッションの現状と今後について考える手段と姿勢を養う。	2・通年	60	2	○			○			○	
○			フォトシューティング	様々なスタイリングでの写真撮影を行い、自身が被写体となる際の自己表現を磨き、可能性を高める。作品はポートフォリオとして活用する。	2・通年	60	2		○		○			○	
○			メディアワーク	フォトショップとイラストレーターの基本操作を習得させ、主にフォトシューティングの授業で撮影する写真を用いて、モデルオーディションなどに必要なコンポジットを魅力あるものに仕上げる。	2・通年	60	2		○		○			○	
○			日本伝統文化	ファッションモデルを目指す人自身の外見だけでなく、あらゆる分野の中から日本伝統文化を取り上げ、体験を通して内面的な美的能力を学ぶ。	2・後期	30	1		○		○			○	
		○	自由選択(語学)ファッション英会話	ファッションを専攻する学生が対象なので、ファッションに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラスを5つのレベルに分けて運営する。 プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通し日常会話の疑似体験をできるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。	2・通年	60	2		○		○			○	○
		○	自由選択(語学)オーラルコミュニケーション	初歩の英文法を学習している学生対象のコース。心理的に壁があり話したくても会話ができない状況を打破するために体得をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な間違いを直すより、自分の考えを表現できるようにすることを重視する。	2・通年	60	2		○		○			○	

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションモデルコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択 (語学) TOEIC	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てるのでビジネス英語の導入としてもとらえている。	2・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択 (語学) 中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えます。初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩の表現についてトレーニングします。中検4級基準。	2・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択 (語学) 日本語(留学生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必要とされる日本語レベルの習得を目標にする。授業では、ファッション用語・文法・敬語表現を中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュニケーション力向上も視野に入れる。目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	2・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択A ファッションデザイン画a	今まで習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ファッションデザイン画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ファッションデザイン画a	今まで習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ファッションデザイン画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子的製作し知識・技術を取得する。	2・前期	30	1		○		○		○		



授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションモデルコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択B 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A 帽子b	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B 帽子b	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2・前期	30	1	△	○		○		○		
		○	自由選択B ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2・後期	30	1	△	○		○		○		
		○	自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色系刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色系刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	2・後期	30	1		○		○		○		

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションモデルコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A 染色	各自が他教科の制作物に应用可能な各種染色技法を、実習を通して習得させる。 さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	2・前期	30	1			○	○		○		
○			特別講義Ⅱ	学内外の博物館、企画展示見学を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。 研修旅行実施にあたっての予備知識を習得する。	2・通年	60	2	○			○			○	
○			校外研修Ⅱ	学外の研修及び研修旅行(神社、仏閣、庭園の鑑賞、企業見学)を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。	2・前期	30	1			○		○	○		
○			イベント実習A	ファッションショーの制作過程と各ポジションの役割分担を学ぶ。 アパレル演習で制作したカジュアルウェアを、新入生歓迎ショーとして発表する。	2・前期	30	1			○	○		○		
○			卒業研究・創作	・2年間の学習の集大成として、卒業制作ショーを行う。 ファッションショーの企画、演出から作品製作まで、2年間学んだ知識と技術を結集し、発表させる。	2・後期	150	5			○	○		○		
学年合計					47科目		1020単位時間( 34 単位)								
総合計					89科目		2070単位時間( 69 単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること	1 学年の学期区分	前期・後期
	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ファッションビジネス	ファッション流通業に必要なとされるファッションビジネスに関する基礎を学びながら、ファッションビジネス能力検定3級資格の取得を目指し、さらに企画について情報活用・提案までを理解する。	1・通年	60	2	○			○		○		
○			アパレル商品論・演習A	流通全般に必要なアパレル商品としてのスカート、パンツ、シャツ・ブラウス、ジャケットの基礎知識を理解させる。 基本型の各アイテムを製作し、発表することでファッションコーディネート技術を学習させる。 バザー作品のファッション小物の製作を通じて商品を理解させる。	1・前期	180	6	○	△		○		○		
○			アパレル商品論・演習B		1・後期	180	6	○	△	○	○		○		
○			ファッションコーディネート	時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネートの提案能力を養う。 実物を使用して、実践的に取り組みながら学習することを目標とする。	1・通年	60	2	○		△	○		○		
○			マーケットリサーチ	・「調べる・見る・聞く」というリサーチの基本を、ショップや街などのリサーチとレポートを通して修得させる。 ・ファッション産業の構造を理解し、小売業態別にリサーチを行い、それぞれの特徴をまとめ、理解する。 ・目的に合わせたリサーチを実践し、得られた情報を分析し、企画に結びつける。	1・通年	60	2	○		△	○		○		
○			ファッション色彩	ファッション流通の色彩に関する基礎的な技術や知識を、演習を中心にを行いながら習得する。 ファッション色彩能力検定3級に対応。テキストの内容に沿った講義や実習プリントの学習を通して、色彩の基本的な知識、配色の基礎、ファッションカラーコーディネーションのセオリーなどを理解し、ファッションの現場で活用できる能力を身につける。	1・通年	60	2	△	○		○		○	○	○
○			アパレル素材論	アパレル製品の主な材料であるテキスタイル(布地)とそれを構成する繊維原料、糸、またそれらの整理・仕上げ・染色加工などに関する基礎知識について「講義」「演習」「実験」を通して学習する。さらに、テキスタイルおよびアパレル業界のつながりや現状とも関連付けながら解説する。	1・通年	60	2	○	△	△	○		○		
○			ファッション史	古代から現代までの西洋服飾の変遷を時代背景、文化的背景と結びつけながら解説します。 各時代の服飾の特徴と現代ファッションとの関連性にも着目しながら、過去の服飾から得た知識を新たなデザイン発想やコーディネート表現へと応用できる力を身につけることを目標とする。	1・通年	60	2	○			○			○	

授業科目等の概要																
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			ファッションデザイン画	ファッションデザイン画は、人体プロポーションと衣服のバランスを把握し、イメージするデザインやコーディネートを具体的に描く技法を身につけることを目標とする。	1・前期	30	1		○		○		○			
○			コンピュータワーク	様々な目的・用途に応じたソフトの利用が出来ること、表現手法に広がりを持たせ、かつクオリティーを高めることを目的とする。 他学科の課題制作が自由に行えるように内容を構成し、2年次に向けての基礎を固めていく。 ・ドロー系ソフト/Illustratorの基礎とペイント系ソフト/Photoshopの基礎 ビジネスソフト/Excel・PowerPointの基礎	1・通年	60	2		○		○		○	○		
		○	自由選択(語学)ファッション英会話	ファッションを専攻する学生が対象なので、ファッションに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラスを5つのレベルに分けて運営する。 プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通し日常会話の疑似体験をできるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。	1・通年	60	2		○		○		○	○		
		○	自由選択(語学)オーラルコミュニケーション	初歩の英文法を学習している学生対象のコース。なかなか心理的に壁があり話したくても会話ができない状況を打破するために体得をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な間違えを直すより、自分の考えを表現できるようにすることを重視する。	1・通年	60	2		○		○			○		
		○	自由選択(語学)TOEIC	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てるのでビジネス英語の導入としてもとらえている。	1・通年	60	2		○		○			○		
		○	自由選択(語学)中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えま す。 初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。 準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩の表現についてトレーニングします。中検4級基準。	1・通年	60	2		○		○			○		
		○	自由選択(語学)日本語(留学生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必要とされる日本語レベルの習得を目標にする。授業では、ファッション用語・文法・敬語表現を中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュニケーション力向上も視野に入れる。目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	1・通年	60	2		○		○			○		

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A ファッションデザイン画a	今まで習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ファッションデザイン画a	前期で習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ファッションデザイン画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ファッションデザイン画a	前期で習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ファッションデザイン画b	流通コース1年としての基本的デザイン画の描写力のスキルアップをめざす。 服のコーディネート、小物類など、ビジュアルでの個性重視を目標とする。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子的製作し知識・技術を取得する。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1・前期	30	1	△	○		○		○		
		○	自由選択B ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	1・後期	30	1	△	○		○		○		

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	1・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ハンディワーク	ハンディーワークにおける基礎知識・レリーフライク表現(スモッキング)・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(色糸刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目指す。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	1・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1期・前	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A ソーイングc	綿・化学繊維を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	1期・後	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングc	綿・化学繊維を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	1・後期	30	1			○	○		○		

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
		○	自由選択B 染色	各自が他教科の制作物に応用可能は各種染色技法を、実習を通して習得させる。 さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	1・後期	30	1			○	○		○		
○			自由研究 A	日頃の学習を基礎とし、専門職業人を目指すものとしての意識の高揚をはかる。 将来の職業選択、キャリア形成のための自己学習。	1・前期	30	1			○	○		○		
		○	自由研究 B	1年間の集大成として、履修したカリキュラム内容をベースに学生自身でテーマを見つけ、将来のキャリアステップになるような研究を各自で行う。	1・後期	60	2			○	○		○		
		○	企業研修	ファッション産業の各分野においてファッション産業の発展に寄与する人材の育成を目的とし、現場業務の体験を通して職業意識の醸成につなげることを目的とする。また、就労体験をとおして自らの適性や能力について実践的に考えさせ、就職活動に向けて動機づけるための機会とする。	1・後期	90	3			○	○		○		
○			キャリア開発	自分を知る、キャリアをプランする、就職対策をテーマに、学生個々人が将来、社会的・職業的に自立し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲と技能、知識、社会人基礎力を育てる。特に多くの卒業生とふれあい、ファッション業界の生の情報を共有する機会を持つことで、将来の職業選択を容易にする。	1・通年	60	2		○	○	○		○		
○			特別講義 I	レギュラー授業に含まれない人材育成のために、講義をはじめファッション流通で学ぶ上で、今後役立つ知識を習得する。	1・通年	60	2	○			○			○	
○			校外研修 I	課外活動を通じて見聞を広めながら団体生活の規律や指導を学び、さらに学生相互の親睦を深める。 ファッション流通業における経営や仕入れや販売、ディスプレイ、スタイリング、ヘアメイク、販売促進・PRなど、ビジネスにおける情報活用の重要性が高まっている現状において、専門科目における情報収集・分析のスキルとは別に、市場や展示会、美術館、舞台衣装などの見学を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。	1・前期	30	1			○		○	○		
学年合計			42科目			1050単位時間(			35 単位						

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションメイクアップコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			メイクアップ概論・演習A	メイクアップアーティストとして、様々なヘア・メイクアップの技術と知識を学び、自己表現の可能性を広げる。 顔分析に加え、用具の使い方・新商品の研究・必要な小物の製作などを通して、実習で作品作りをする。	2・前期	60	2	○	△		○		○		
○			メイクアップ概論・演習B		2・後期	60	2	○	△		○		○		
○			化粧科学	化粧品は消費者が日常的に使用するものであり、化粧品ビジネスに関わるものとして、肌や毛髪について理解したうえでその使い方を正確に伝える必要がある。 ここでは化粧心理学を盛り込みながら、顧客に対し正確で公正な質の高いコミュニケーションを行うための知識を実習を交えながら学ぶ。	2・通年	60	2		○		○			○	
○			色彩美学	発想－表現－コミュニケーション 3つを連動させながらメイクだけにこだわらず、幅の広いクリエイションにとりくむ。 自身を見つめしっかりとしたコンセプトを組み立てる力を養う。	2・通年	60	2		○		○			○	
○			エスティック	企業との連携により、人間の表面の美しさだけではなく、内面の美しさをも引き出すことができる美容法として、エステティックを学んでいく。技術だけではなく、顧客に対して癒しと効果を提供することを学び、自らの心も成長させる。	2・通年	30	1		△	○	○			○	○
○			ネイルデザイン	企業との連携により、ネイルサロンが提案するネイルデザイン・テクニックを学び、新しいネイルデザイン発想提案する。メイクアップのひとつともいえる「ネイル」を学ぶことによってファッションメイクアップのスキルをさらに磨く。	2・通年	30	1		○		○			○	
○			ファッション商品論・演習A	幅広い商品知識の中からアパレル商品について、商品の分類、種類の名称、色の効果と素材の知識を理解する。 更に新入生歓迎ショー作品(カジュアルウェア)の制作、バザー作品製作。	2・前期	60	2	○	△		○		○		
○			ファッション商品論・演習B	フォーマルウェアの制作を通して、フォーマルウェアに適した素材の扱い方、縫製テクニックを修識させる。 フォーマルウェアに合う布地を使用したアクセサリー制作。	2・後期	90	3	○	△		○		○		
○			メイクアップコーディネート	素材・色・アクセサリー・体型など、客観的視点からコーディネートの知識と技術を学び、更にコースの専門性を生かしたヘアメイクを加えたトータルコーディネート表現力を身につける。	2・通年	60	2	○	△		○		○		
○			ファッション情報	ファッション情報の流れと入手方法について学び、ファッション情報を分析、活用する事的重要性を理解する。 ファッション情報の活用を知ること、ヘアメイクの発想の幅を広げ、ヘアメイクに対する職業意識を高める。	2・通年	30	1	○			○		○		



授業科目等の概要																
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションメイクアップコース) 平成29年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			映像表現	写真での自己表現力を高める要素として、適切な表現技術を知るため、カメラの基本構造、構図の決定の効果、質感の描写のポイント、ライティングのテクニック、テーマの設定の撮影を体験しながら学ぶ。撮影の経験を生かし作品の評価や目的に適合した写真の良否を見極める感性を養う。	2・通年	60	2		○		○				○	
		○	メイクアップ演習	ヘアやメイクアップに特化した実習現場に参加する。専門に学んでいるヘア技術やメイク技術を実践で提供し、様々な素材に対応できるように経験を積み技術を磨く。	2・通年	30	1		○		○			○		
○			ファッション文化史	ファッションには、その時代の社会状況や人々の価値観が反映される。本授業ではファッション・デザイナーの仕事やストリート・ファッションの変遷について概観し、その背景にある時代性を探っていくことで、20世紀ファッションがどのように発展してきたのかについて考察する。なお、各回ごとに現在のファッション・シーンと照らし合わせて見ていくことによって、ファッションの現状と今後について考える手段と姿勢を養う。	2・通年	60	2	○			○				○	
○			メディアワーク	フォトショップとイラストレーターの基本操作を習得し、メイクの提案やイメージをビジュアル化してプレゼンテーションできるスキルを身につける。	2・通年	60	2		○		○			○		
○			日本伝統文化	ファッションメイクアップを目指す人自身の外見だけでなく、あらゆる分野の中から日本伝統文化を取り上げ、体験を通して内面的な美的能力を学ぶ。	2・後期	30	1		○		○			○		
		○	自由選択(語学)ファッション英会話	ファッションを専攻する学生が対象なので、ファッションに関するトピックを中心に文法の復習を含めた英会話の授業を組み立てる。クラスを5つのレベルに分けて運営する。プレゼンテーション、ペア・ワーク、グループ・ワークを通し日常会話の疑似体験をできるだけできるように工夫している。英語でのコミュニケーションを少しでも多く体感できることを目指す。	2・通年	60	2		○		○			○	○	
		○	自由選択(語学)オールラウンドコミュニケーション	初歩の英文法を学習している学生対象のコース。心理的に壁があり話したくても会話ができない状況を打破するために体得をベースにしたクラス運営を目指す。文法的な間違いを直すより、自分の考えを表現できるようにすることを重視する。	2・通年	60	2		○		○				○	
		○	自由選択(語学)TOEIC	TOEIC試験受験学生への準備授業、文法の確認をしつつ、英語のレベルアップを目指す。TOEICの問題を利用してプログラムを組み立てるのでビジネス英語の導入としてもとらえている。	2・通年	60	2		○		○				○	

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションメイクアップコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択 (語学) 中国語	発音の土台「ピンイン」から始め、難関の「四声」「変調」「巻き舌音」を確実にマスターします。入門段階では、単語を蓄積しながら文型の学習に入り、実践練習で会話表現を覚えます。 初級段階では、時制のニュアンス、意思の伝え方を学びます。中検準4級基準。 準中級1段階では、動作の回数、時間の長さ、疑問表現を学ぶほか、物事の比較・類似・比喩の表現についてトレーニングします。中検4級基準。	2・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択 (語学) 日本語(留学生)	留学生が本科の授業内容を理解するために必要とされる日本語レベルの習得を目標にする。授業では、ファッション用語・文法・敬語表現を中心に、「わかるから運用できるまで」の指導を行う。グループワーク、発表を取り入れ、コミュニケーション力向上も視野に入れる。目標レベルの設定は、日本語能力試験N1レベル。	2・通年	60	2		○		○			○	
		○	自由選択A ファッションデザイン画a	今まで習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	2・前期	30	1		○		○			○	
		○	自由選択A ファッションデザイン画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ファッションデザイン画a	今まで習得した基礎技法に 衣服の構造とファッショングッズのアイテム表現を強化。明確な製品図を習得する事を目標とする。	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B ファッションデザイン画b	ファッション業界や接客業での自分の考えをビジュアル化させる為のイラストによる描写力のスキルアップ 各自の個性を重視した課題内容と個人指導で対応します。	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B バッグ	ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。	2・後期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択A 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・前期	30	1		○		○		○		
		○	自由選択B 帽子a	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子の製作し知識・技術を取得する。	2・後期	30	1		○		○		○		

授業科目等の概要														
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションメイクアップコース) 平成29年度														
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	
			○	自由選択A 帽子b	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子的製作し知識・技術を取得する。	2・前期	30	1		○		○		○
			○	自由選択B 帽子b	ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として布地による基本的な帽子的製作し知識・技術を取得する。	2・後期	30	1		○		○		○
			○	自由選択A ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2・前期	30	1	△	○		○		○
			○	自由選択B ニット	コーディネートアイテムであるニット製品の特徴を講義と実習により理解させる 実習では指編みでニットの構造を体感し、基礎編みを中心に棒針・鉤針の編み方を学び、各自の技量に合わせ個人製作を行う。	2・後期	30	1	△	○		○		○
			○	自由選択A アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2・前期	30	1		○		○		○
			○	自由選択B アートフラワー	アクセサリー、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。 アートフラワー一般知識 染色サンプル制作 ダリア マーガレット カメリア 自由作品制作	2・後期	30	1		○		○		○
			○	自由選択A ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(糸糸刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	2・前期	30	1		○		○		○
			○	自由選択B ハンディワーク	ハンディワークにおける基礎知識・レース表現(マクラメレース)・加飾美表現の基礎(糸糸刺繍、ビーズ・スパングル刺繍)を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。	2・後期	30	1		○		○		○
			○	自由選択A ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・前期	30	1			○	○		○
			○	自由選択A ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・前期	30	1			○	○		○
			○	自由選択A ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2・前期	30	1			○	○		○

別紙様式4)

(5/5)

授業科目等の概要															
(ファッション流通専門課程ファッション流通科ファッションメイクアップコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	自由選択B ソーイングa	ニット(カットソー)のトップスを素材の特性を理解した上でデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングb	ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択B ソーイングc	綿・化繊を中心とした布地で一重仕立てのワンピースを制作する。 教科書の作図と既存のパターンを用いて各自のデザインに応じた制作方法を理解させる。	2・後期	30	1			○	○		○		
		○	自由選択A 染色	各自が他教科の制作物に応用可能な各種染色技法を、実習を通して習得させる。 さらに、染色の観点からアパレル商品についての理解を深めることを目標とする。	2・前期	30	1			○	○		○		
○			特別講義Ⅱ	学内外の博物館、企画展示見学を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。 研修旅行実施にあたっての予備知識を習得する。	2年・通	60	2	○			○			○	
○			校外研修Ⅱ	学外の研修及び研修旅行を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。	2・前期	30	1			○		○	○		
○			イベント実習A	ファッションショーの制作過程と各ポジションの役割分担を学ぶ。 アパレル演習で制作したカジュアルウェアを、新入生歓迎ショーとして発表する。	2・前期	30	1			○	○		○		
○			卒業研究・創作	・F流通科2年間の学習の集大成として、卒業制作ショーを行う。 ・ファッションショーの企画、演出から作品製作まで、2年間学んだ知識と技術を結集し、発表させる。	2・後期	150	5			○	○		○		
学年合計				47科目		1020単位時間( 34 単位)									
総合計				89科目		2070単位時間( 69 単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること	1 学年の学期区分	前期・後期
	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。